



親鸞誕生の地を記念し昭和の初期に創建された誕生院。阿弥陀仏を本尊とし有範の木像、親鸞六歳の御影図が安置されている。

本堂の流麗な葺屋根、エンタシス様の円柱がたちならぶ回廊の端正な建築空間が美しい。

日野法界寺、誕生院近辺には、日野家の御廟所のほか、親鸞聖人ゑな塚や産湯の井戸など伝承の地も整備されている。



日野の法界寺は、日野有範から藤原氏の系流を数代遡った日野資業すけなりの創立。

阿弥陀堂に安置された阿弥陀如来坐像(国宝)は、藤原時代(平安中期)当時のすがたをそのまま現在いまに伝えている。

松若丸は父や母に連れられ、この阿弥陀如来に日々身近に合掌したのであろう。

親鸞の幼少期を想像するうえで最も因縁の深い阿弥陀堂といえる。